

平成31年度学校自己評価システムシート (県立越谷総合技術高等学校)

目指す学校像	社会に貢献する産業人材を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。 規範意識を高める指導を推進し、豊かな人間性を持った生徒を育てる。 キャリア教育の充実により、進路に対する意識を高め、希望する進路を実現する。 地域等との連携と積極的な情報発信により、本校教育への理解を深める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	多くの生徒が普通教科、専門教科ともにバランスよく学習し、さらに資格試験の取得を目指し普段から努力している。一方、学習面で支援を必要とする生徒が、苦手な学習や課題を後回しにしてしまう傾向がある。生徒が学習や資格取得を計画的に取り組むための工夫が必要である。	<ol style="list-style-type: none"> 学力を向上させるとともに、学習習慣を身に付けさせる。 授業補講や資格取得に計画的に取り組ませる。 	<ol style="list-style-type: none"> 朝読書の他、朝学習やSPI等の小テストを行い、基礎学力を身に付けさせる。 新聞記事の紹介などを行い、教室の新聞の活用し、一般常識を身に付けさせる。 生徒が資格取得を計画的に行えるよう、本校で取得できる資格一覧を提示することで学習意欲の向上を図る。 考査前の会議を減らし、考査1週間前を補講週間とする。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒が主体的・対話的に学べる機会を提供しているか。(前年度比述べ回数3回増) 補習や朝学習などの学習環境を整える方策を組織的に取り組むことができたか。 年度当初に資格取得一覧表を生徒に提示することができたか。 毎学期補講時間を確保することができたか。 		
2	規範意識のある生徒が多く、学校周辺での交通事故は減少している。校内は整理整頓され規律ある学校生活を送っている生徒が多い。しかし、ネット関係での問題が発生し、人間関係に悩む生徒が多い。部活動の活性化と交通意識の徹底と適切な状況判断の育成が課題である。	<ol style="list-style-type: none"> 安心安全な学校づくりのための教育環境を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ネットセキュリティ講演会・情報セキュリティ講演会を実施し、心配な生徒情報の共有化を図る。 部活動の活性化を図り、人間関係を構築し、規律・礼儀・忍耐力を高める。 通学路での立哨指導を継続し、交通安全に関する講演会を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ネットモラルに関わる生徒指導件数は減少したか。 部活動への加入状況と活動実績の割合は高いか。 前年度より交通事故件数の減少は達成できたか。 		
3	昨年度の就職内定状況は、好景気のため好調であった。しかし、1社目で不採用となった生徒が一昨年に比べて若干増加した。不採用の理由として「学力試験ができていない」という回答をする事業所が増えた。学校全体で考えていくべき課題である。進学者から「進学希望者に対する指導が手薄い」というアンケート結果があり、進学者に対しても手厚い指導を実施していく必要がある。	<ol style="list-style-type: none"> 就職希望者の内定率の維持及び、学力試験に対する指導を充実させる。 面接試験に対する指導の充実等、進学希望者に対する指導を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 就職希望者に対する指導をより充実させるために、担任、学科との情報交換を密に行い、就職希望を実現させる。また、進路手帳や面接カードを活用して、学力試験、面接試験ともに指導体制を整える。 短期間での離職を防ぐために、キャリア教育の充実を図る。 進学希望者に対する面談の機会を増やし、進路新聞や進路だより等で、生徒に有益な情報を提供できるように体制を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> 各担任、各学科との情報交換を行い、情報を共有できたか。 就職希望者の満足度は90%以上であったか。 進学希望者の満足度は90%以上であったか。 卒業生進路説明会の際に「卒業生アンケート」を実施し、卒業生の現状を把握することができたか。 		
4	ホームページや中学校等との様々な関わりを通して本校の教育活動を発信している。しかし更なる工夫が必要である。学校説明会等の内容を検討、充実させるとともに、ホームページのスマートフォンへの対応、メディア等を活用して本校の活動を発信し生徒募集につなげることが喫緊の課題である。	<ol style="list-style-type: none"> 情報発信の内容、方法を見直し、より魅力のあるホームページを構築する。 地域や各種学校との連携を図り、本校に興味を持つ中学生を増やす。 	<ol style="list-style-type: none"> ホームページを見やすく整理するとともに、メール配信システム等を活用する。 部活動の成績や各学科のコンテスト、競技会の成績を発信し、校名を広め、評価を向上させる。 小中学校を対象とした講座やコンテストを開催するとともに、出前授業の依頼元である中学校の新規開拓をし、地域を広める。 学科の特色を生かして地域の行事に参加し、本校の認知度を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> ホームページに満足している保護者の割合は増加したか。 ホームページの更新回数は増加したか。 学校説明会への参加者は増加したか。 学外の情報媒体によって情報発信をされたか。 		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成 年 月 日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		